

Canon

ダイヤル35

使用説明書



Canon ダイアル 35

このたびは、キャノンダイアル35をお選びくださいましてまことにありがとうございました。世界のカメラとしてひろく親しまれてまいりましたキャノンが、これまでのカメラというイメージを完全に破って完成したユニークな 35 ミリデミサイズカメラです。気軽に片手で撮影のできる構造とスタイルをもち、しかもキャノンの技術にうらづけられた高性能機です。皆様のメモがわりにスピーディな速写をお楽しみください。



ファインダー窓

照明窓

フォーカシングレバー

フィルム感度目盛

フィルム感度指標

オート・フラッシュ切換
えボタン

撮影レンズ

ASA感度調節レンズ群

フィルム枚数計

シャッター指標

シャッターボタン

フィルム巻戻し用ボタン

スプリングモーター巻上
げグリッ

● キヤノンダイアル35の10大特長

1

スプリングモーターによるフィルム巻上げ（パワードライブ）とシャッターチャージ

2

シャッターボタンを押すだけで、連続撮影が可能

3

スプリングモーターによる自動巻戻し（パワーリワインド）

4

グリップを巻上げるだけのオートマチックローディングセット

5

フィルム送り，巻戻しのいずれにも作動する逆転可能フィルム枚数計

6

デミサイズカメラとして最初のCdSメーター組込み，シャッター優先式EE完全連動システム

7

適正露出窓と距離表示窓をそなえた明るいマークファインダー

8

フィルター倍数の自動補正

9

24mm×18mm判デミサイズ，横位置撮影

10

気軽に片手で撮影できる構造とユニークなデザイン

● キヤノンダイアル 35 の主な性能

- 型 式 : 35mmフィルム使用の24mm×18mm判デミサイズカメラ
- レ ン ズ : キヤノンレンズ SE 28mm F 2.8 ビハインド絞りの改良トリプレットタイプ3群5枚構成 マゼンタとアンバーのスペクトラコーティング
- 焦点調節 : ▲ (風景) ■■ (グループ) ● (ポートレート) の3つのゾーンフォーカスマークを利用するヘリコイド式
- シャッター : 1/30, 1/60, 1/125, 1/250秒 ビハインド ザ レンズシャッター
- メーター : CdS方式 レンズの絞りと完全連動するシャッター優先式EE
- メーターの作動範囲 : ASA 100に対して LV6~LV21 に相当する明るさの範囲
- フィルム感度目盛 : ASA 8 12 25 50 100 200 400
 10 16 32 64 125 250 500
- ファインダー : 画界を示すブライトフレームのほかに 絞り目盛やゾーンフォーカスマークも同時に眺められます
- 自動空送り装置 : フィルムを装填してからスプリングモーターを巻上げるとフィルム枚数計は S から 0 に進んで フィルムの空送りが止り自動的に1枚目がセットされます
- フィルム枚数計 : 巻上げ 巻戻しに連動する自動表示式
- フィルム巻上げと巻戻し : スプリングモーターによるパワードライブ方式
- フラッシュ同調 : X 接点, スピードライト M級 F級に対し同調可能
- 大きさ・重量 : 99mm×75.5mm×43.5mm/430g

● ご使用にあたって

キャノンダイアル35を十二分にご利用いただくために、次の点にご注意ください。

- ・キャノンダイアル35は、フィルムをつめてスプリングを巻上げないと、シャッターがチャージされず、またシャッターボタンを押してもシャッターは切れません。

- ・フィルムの巻上げ中には、シャッターボタンを押さないでください。

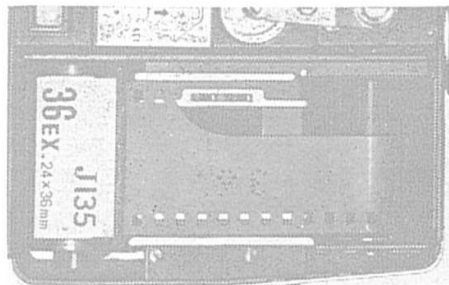
- ・キャノンダイアル35にはキャップがありません。

カメラを使用しないときには、かならずケースにしまっておいてください。

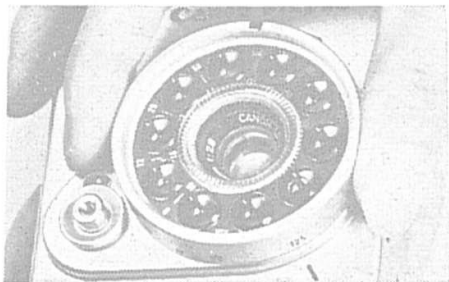


● キヤノンダイアル35 の撮影手順

1 フィルムをつめます。



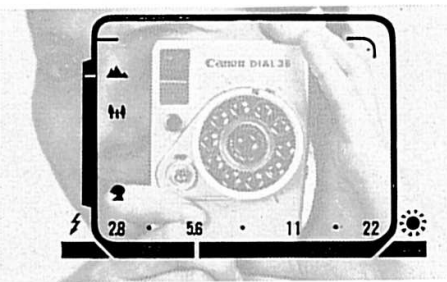
4 シャッタースピードを
ぎめます。



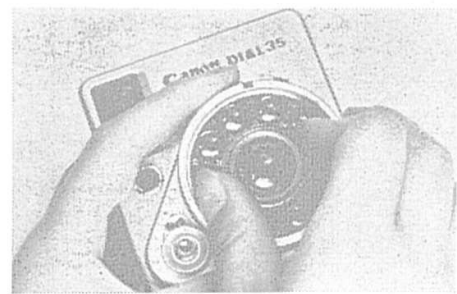
2 スプリングモーターを
巻上げます。



5 ファインダーを覗いてゾーンフ
ォークスマークに針を合わせま
す。

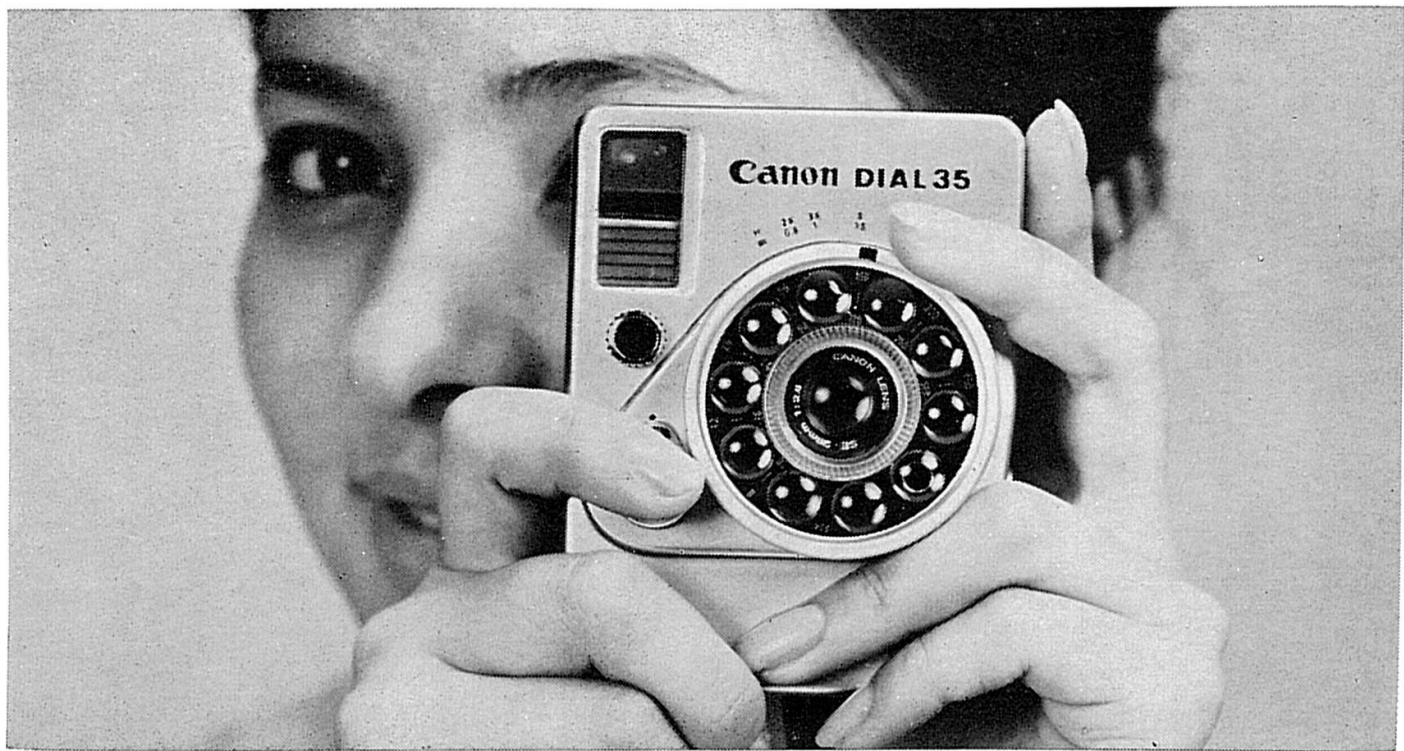


3 フィルム感度を合わせ
ます。



6 メーター指針を確かめて、シ
ャッターボタンを押します。





● フィルムのつめ方

フィルムは市販のパトローネ入りフィルムを使います。

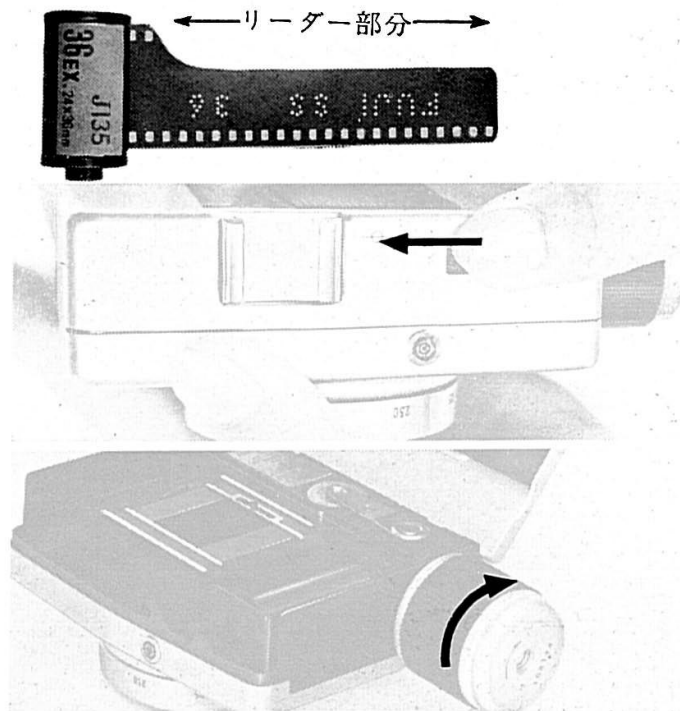
1

裏蓋開閉ノブを矢印の方向に押しあげると裏蓋が開きます。

● フィルム枚数計はS（スタート位置）をさしています。

2

はじめにグリップを右回しに回し巻取りスプールの回転を確かめます。



3

パトローネ室にフィルムを収めます。

- 巻戻しフォークは引出せないようになっていいますから、パトローネを斜めにして室内に収めます。
- パトローネがなかなか収まらない場合には、指先でパトローネを軽く左右に動かすとスムーズに収まります。

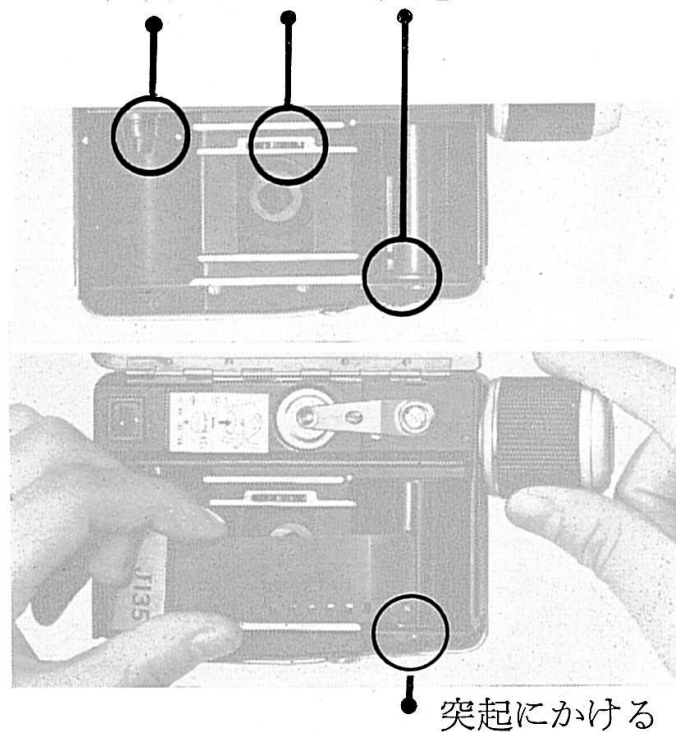
4

フィルムの先端を巻取りスプールの溝に差しこみ、フィルムの孔を確実に突起にかけます。

- スプールの溝が裏側にかくれているときはグリップを回して、つめ易い適当の位置に出します。

10

フォーク ギヤー 突起

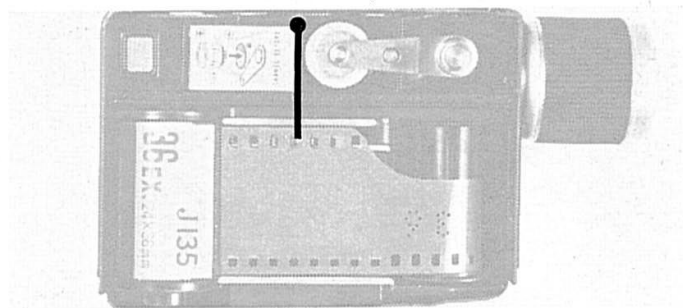


突起にかける

5

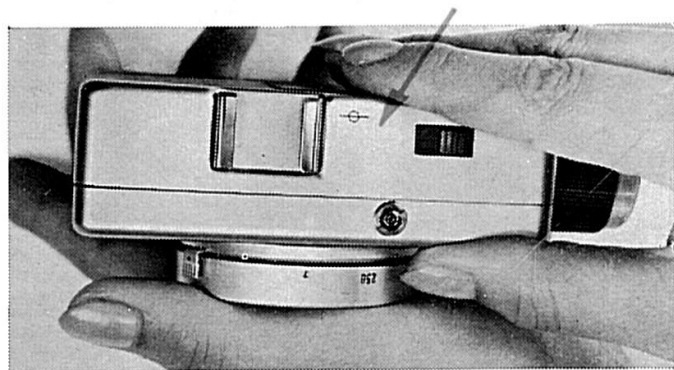
グリップを少し回して、フィルムのたるみをとります。

ギヤーにかける



6

裏蓋を押しつけて閉じます。



● フィルムリーダーの空送り

1

裏蓋を閉じてから、矢印の方向にグリップを回してスプリングモーターを巻上げると、フィルム枚数計はSから0まで進みます。

● この間に、フィルムのリーダー部分が空送りされて、自動的に第一枚目がセットされます。

2

空送りがすんで枚数計が0になってからも、グリップをから回し続けるまで一杯に回してスプリングモーターを巻上げておきます。

● 一回の巻上げで、フィルム約20枚以上の巻上げができます。さらに撮影を続けたいときには、もう一度スプリングモーターを一杯に巻上げてください。40枚撮影する場合には、2度巻上げることになります。

- スプリングモーターを巻上げないと、フィルムは巻かれず、シャッターも切れません。
- フィルム枚数計は5枚目ごとに数字が目盛りられています。



● EE 撮 影

フィルム感度をセットします。

1

シャッターリングを押さえ、撮影レンズの外側にあるローレットに指をかけて回し、

2

使用するフィルムの感度目盛を、シャッターリングに彫刻してある指標に合わせます。

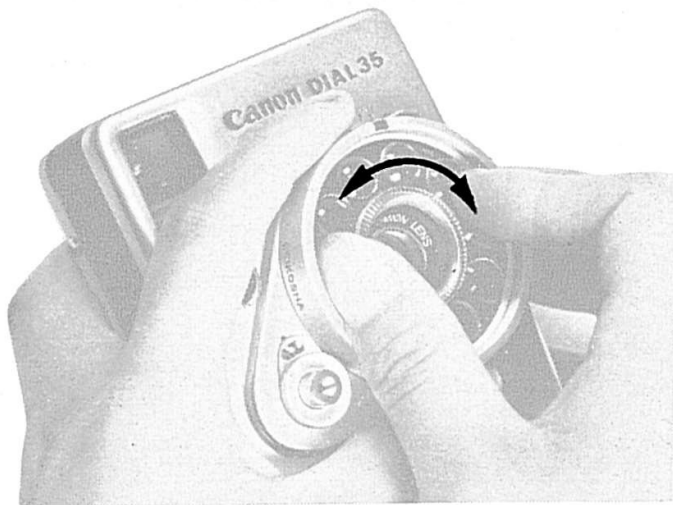
●このカメラは構造上、表示されてあるフィルム感度目盛以外の中間は使えません。

●ASA 目盛にないフィルムを用いるときにはいちばん近い目盛をご使用ください。たとえばASA80に対してはASA50～64にセットします。

●各目盛は、それぞれ指標の位置でクリックストップします。これを無視すると正しい露出が得られません。

● ASA DIN 感度対照表はカメラの裏蓋にあります。

ASA	8	12	25	50	100	200	400
	10	16	32	64	125	250	500
DIN	10	12	15	18	21	24	27
	11	13	16	19	22	25	28



● カメラの構え方

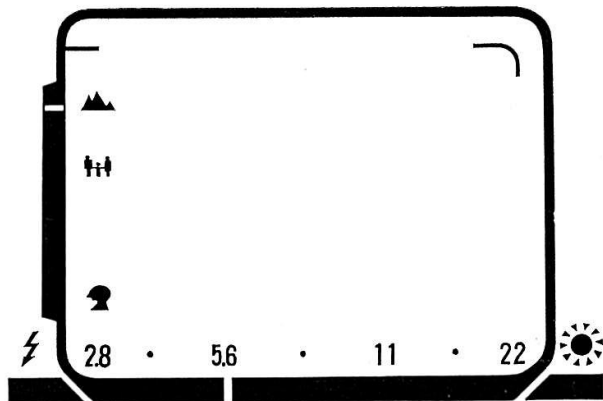


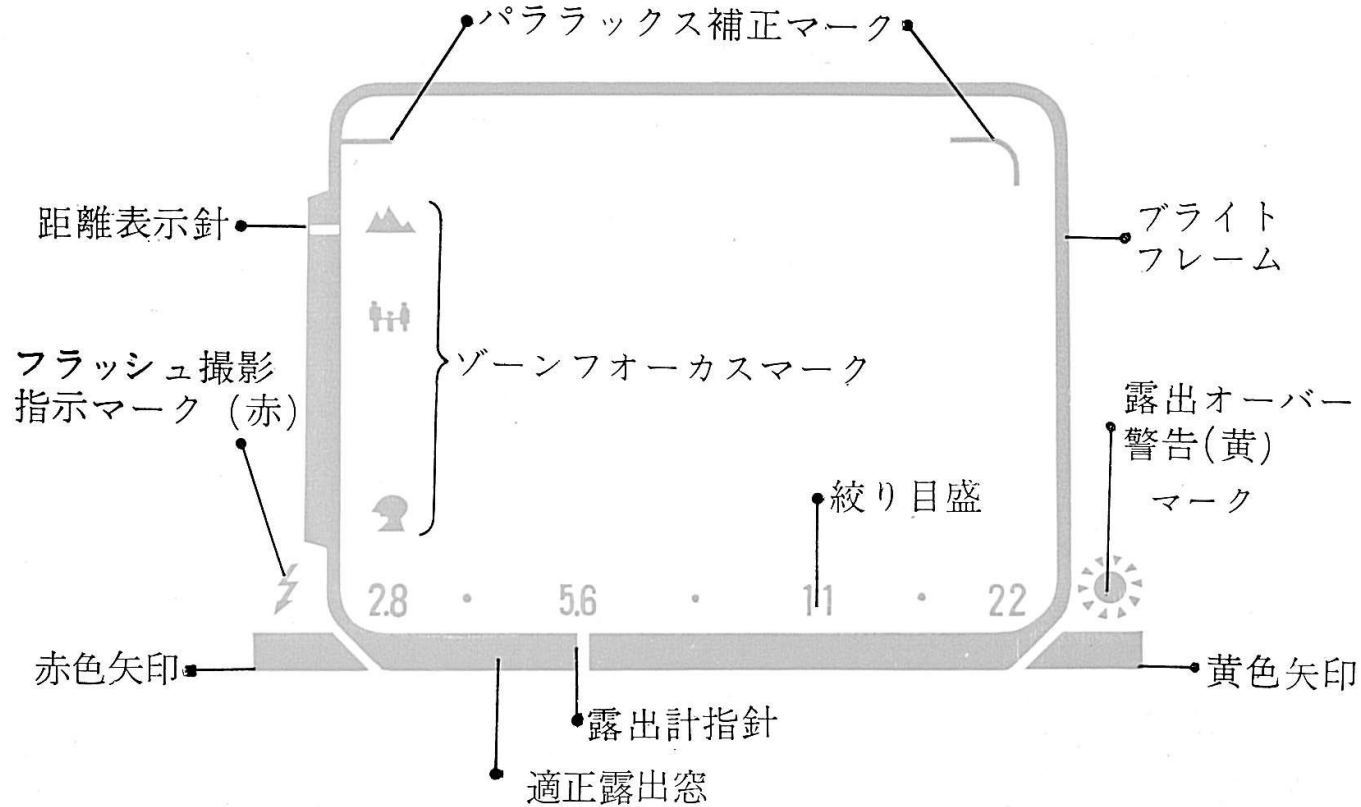
● ダイヤル35ではファインダーを覗くとカメラの上部が自然に額に当るようにデザインされており、カメラぶれを防ぐことができます。

● ファインダーをのぞきます



● ファインダー視野には、構図をきめるフレーム、3つのゾーンフォーカスマークとピント合わせを知らせる指針、絞り数値や露出計指針などが見えます。





● 露出のきめ方



● カメラを被写体に向けてファインダーを覗き、メーターの指針が適正露出窓（2.8-22）の中にあるかどうかを確認めます。

● この窓の中に針があるときには、そのままゾーンフォーカスマークを確認してシャッターを切れば適正露出の写真が撮れます。

● 指針が、赤い矢印または黄色の矢印のなかにある場合には、被写体の明るさに対して、シャッタースピードが速すぎるか遅すぎることを示しています。

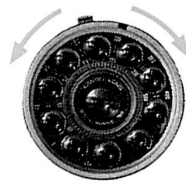
● このときには、シャッターリングを矢印の方向に回し、適正露出窓の中に指針が入るようにします。

● あらかじめ、シャッタースピードを250 快晴、125 晴、60 曇、30室内あるいは雨、ときめて指標にセットしておく便利です。

● シャッターリングを一杯に回しても指針が ⚡ マークに入ったまま動かないときには、暗すぎる場合ですからEE撮影をやめてフラッシュ撮影、☀ マークに入ったまま動かないときには、明るすぎる場合ですからキヤノン ND4、ND8 などのフィルターを使用します。

● 適正露出窓の上の数字は絞り値です。指針の位置で適正絞りが読み取れます。

● 指針が警告矢印の中にあるときでもシャッターボタンは押せますが、適正露出は得られません。ご注意ください。



● ピントの合わせ方

露出がきまったらピント合わせをします。

1

ファインダーを覗きながらフォーカシングレバーを回して、ゾーンフォーカスマーク（▲ 風景，👨‍👩‍👧 グループ，👤 ポートレート）に針を合わせます。

● レンズの被写界深度は非常に深いので、気軽にゾーンフォーカスマークを利用して、撮影を大いに楽しむことができます。

2

正確な距離合わせをしたいときにはフォーカシングレバーを左右に回して、使用する距離目盛に指標を合わせます。



遠距離マーク（10m以上）

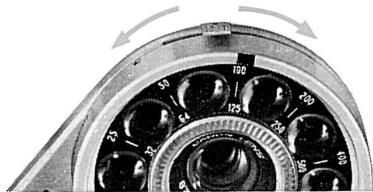


中距離マーク（3m // ）



近距離マーク（1m // ）

- 一人の場合でも距離がはなれているときには、中距離や遠距離用のマークを使用することになります。



● ファインダーで構図をきめる

白線の中がフィルムに写る範囲です。

近距離撮影のときは、多少のパララックスが出ますから、補正マーク内で構図をきめてください。(1mのとき)



● シャッターボタンを押す

シャッターボタンは、手ぶれのない鮮明な写真を撮るために静かに押します。

シャッターがリリースされて、ボタンが元の位置に戻ると同時に、スプリングモーターによって自動的に一枚分のフィルムが巻上げられて、次の撮影ができます。

- フィルムが送られている最中にシャッターボタンを押さないでください。
- フィルム送りの途中でシャッターボタンを押すとスプリングモーターが急停止することになりフィルム送り機構に悪影響を与えますからおさげください。



● フィルムの巻戻し

フィルムが終りになると、スプリングモーターを一杯に巻上げても、シャッターボタンは押せませんから、撮影を止めてフィルムを巻戻します。

1

フィルム巻戻し用のRボタンを右に回しながら押しこみ、Rボタンの白点をボディ側の白点に合わせます。

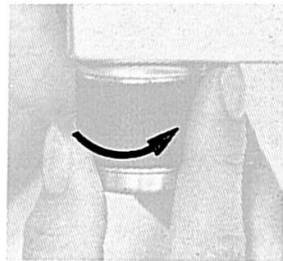
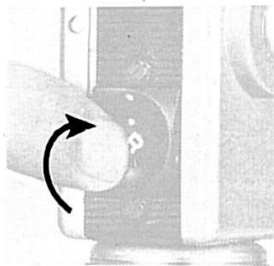
2

フィルムはスプリングモーターの巻上げられている分だけ自動的に巻戻されます。

● その量はスプリングモーターがフルチャージされている場合に約20枚分です。

3

その後はRボタンから指を離さずに、フィルム枚数計がSになるまでグリップを



回します。

4

フィルム枚数計がSになったときには、フィルムははじめ装填したときの状態に巻戻されています。

5

裏蓋開閉ノブを矢印の方向に押し上げて裏蓋を開き、パトローネを取り出します。

● フラッシュ撮影

フラッシュ撮影の場合には、ファインダー窓の下にある絞りボタンを引出して左右に回すと、メーター指針が動きますから、希望する絞り値を選ぶことができます。

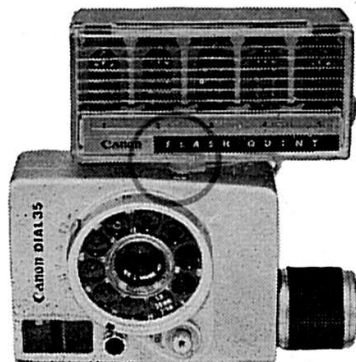
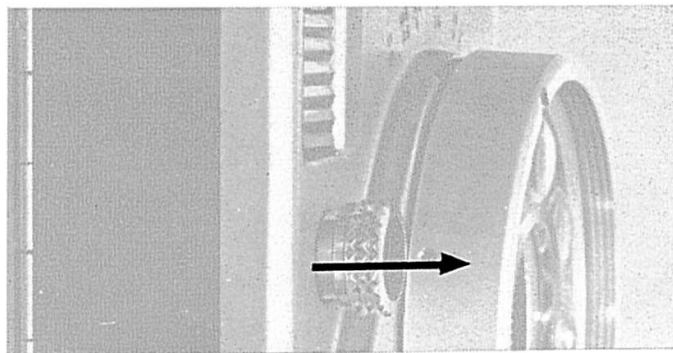
シャッタースピードはシャッターリングを回して、リングに彫刻されている目盛を指標に合わせることにより、お好みのスピードが選べます。

フラッシュからE E撮影に切換えるときには、ボタンを押込めば再びE Eとなります。

● フラッシュユニットの取付け

アクセサリシューにフラッシュユニットを取付け、コードをフラッシュソケットに差しこみます。

バルブの同調範囲は次頁の通りです。



フラッシュの同調範囲

シャッター スピード \ バルブの種類	X スピード ライト	F クラス	M クラス
1/30	○	○	○
1/60	○	○	●
1/125	○	●	●
1/250	○	●	●

○使用できる

●使用できない

● 絞りの決め方

絞り値は使用するフラッシュバルブのガイドナンバーを距離で割って求めます。

$$\text{絞り値} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離}}$$

次に切換えボタンを回して上記の計算によって算出された絞り値をファインダー内の数値に合わせます。

この場合キャノンフラッシュユニット J-3 をご使用になれば計算盤により、わずらわしい計算をしなくても済みます。

● 水銀電池の交換

水銀電池は普通1年以上のご使用にたえられますが、電池の寿命が切れたときには、メーター指針がはたらかなくなりますから水銀電池を取換えなければなりません。水銀電池は市販のナショナルM-P 東芝TH-MP, Mallory RM-1, General RG1, Eveready E1 などをお使いください。

水銀電池を取換えるときには、

1

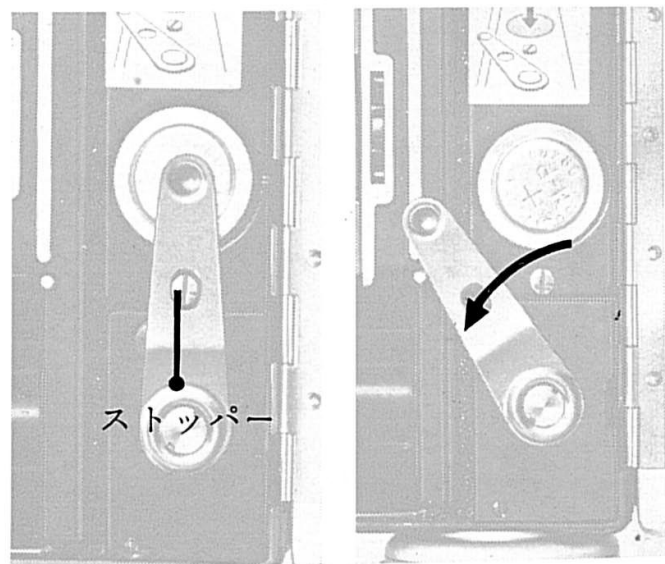
押さえ金具の先端を持ちあげて、ストッパーからはずし、横に回します。

2

電池は図に従って入れてください。このとき電池の⊕が上面になります。

3

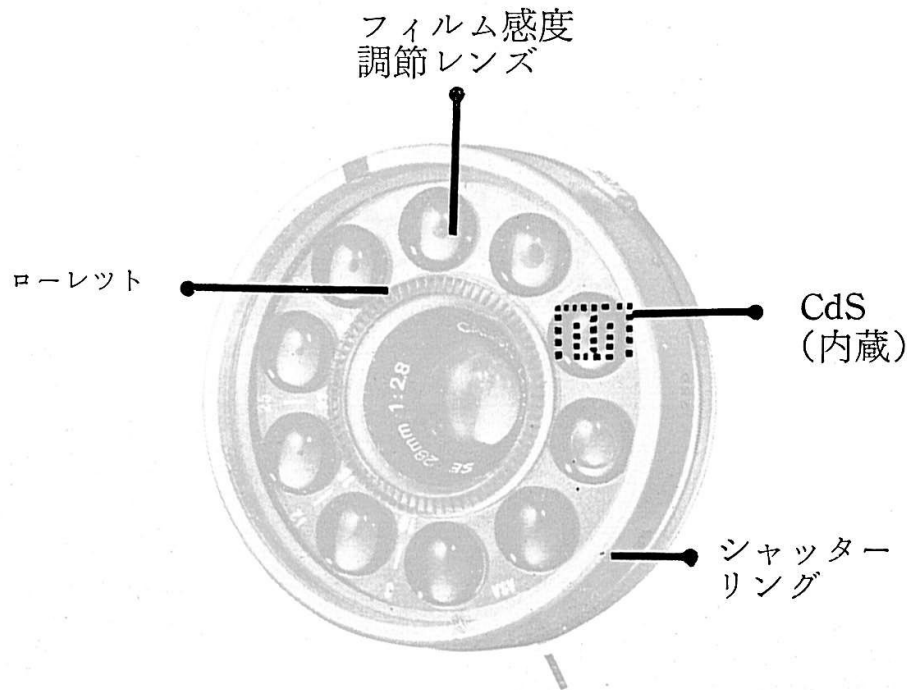
押さえ金具をもとに戻して、ストッパーにはめこみます。



● ご 注 意

露出計とASAとの関係

- ローレットに指をかけて回すと、フィルム感度調節レンズは回りますが、CdSは回りません。
- ローレットがクリックストップすると、CdSのちょうど真上に固定絞りがきます。したがって中間の位置では適正露出が得られません。
- シャッターリングを回してもCdSは回らず、フィルム感度調節レンズ全体が回り、自動的に露出の補正が行われます。



● フィルターの使用

フィルターをかけてE E撮影をする場合にはフィルム感度調節用の受光レンズ群をも同時にカバーできますから、露出倍数に神経を使う必要は全くありません。ねじこみ式 48mm フィルターを使用します。



● アクセサリー

● フィルター

キヤノンダイヤル 35 には 11 種類のキヤノン 48mm ねじ込みフィルターが用意されております。

Y₁(×1), Y₃(×2), O₁(×3), R₁(×6),
G₁(×3), UV(×1), ND4(×4), ND8(×8),
CCA(×2), CCB(×3), SKY(×1)

()内は露出倍数

● フラッシュユニット J-3

PF-1 および AG-1 タイプのベースレスバルブ用フラッシュソケット切換式。

● レリーズアダプター

キヤノンダイヤル35に、セルフタイマー6あるいはレリーズを取付ける際、使用するアダプター。



- フラッシュクイント

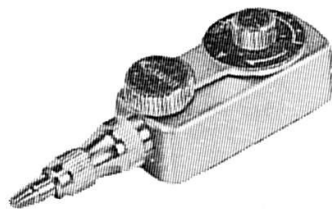
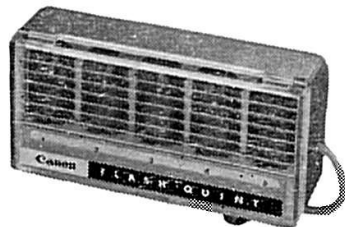
5個のフラッシュバルブを連続発行させることができる小型発光器です。AGタイプ専用。取付け方はフラッシュユニットとまったく同じです。

- セルフタイマー6

スターターボタンを押してから5～12秒後にシャッターを作動させることができます。セルフタイマー6をご使用になるときには、必ずリリースアダプターをお使いください。

- キヤノンリリース

手ぶれやカメラぶれを防ぐために三脚と併用して使います。メタルリリースをご使用になるときにはかならずリリースアダプターをお使いください。



ファインダー接眼窓

アクセサリシュー

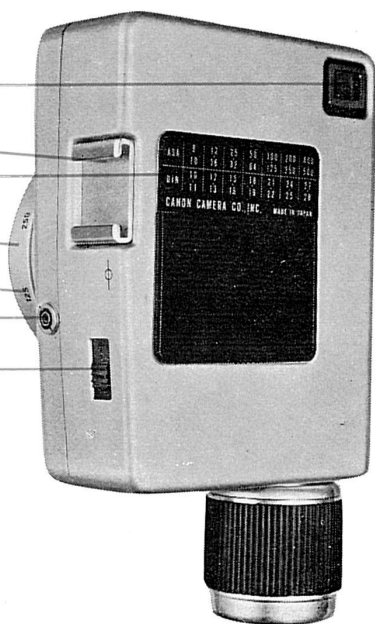
ASA—DIN換算表

シャッターリング

シャッター速度目盛

フラッシュソケット

裏蓋開閉ノブ





キヤノン 7型



キヤノンフレックス RM



キヤノンデミ



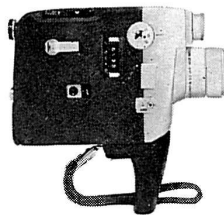
キヤノネット



キヤノネット ジュニア



キヤノンズーム 8-3



キヤノン
モーターズーム 8EEE

キヤノンカメラ株式会社

本社・工場 東京・大田区下丸子町 電話738大代表2111

営業所 東京・中央区銀座7-1(ヤマトビル3階) 電話571-2141~5

サービス・ステーション

東京・中央区銀座6-2(松坂屋前) 電話571-3767・4461

大阪・北区梅田2(第一生命ビル2階) 電話361-1261・1701

名古屋・中村区広小路西通2(大商ビル6階) 電話55-2811

広島・広島市鞆町2-6 電話2-4615・4616

福岡・天神町12-1(福岡ビル9階) 電話76-1061・3561

札幌・北三条西4-1(第一生命ビル4階) 電話3-5788・2-7322

仙台・仙台市東二番丁68(富士ビル8階) 電話25-0215~7

PUB. NO. 0155

0763B25

PRINTED IN JAPAN

Canon

ダイヤル35

